

岩手県東日本大震災津波復興委員会 第 7 回総合企画専門委員会の審議概要

1 開催概要

(1) 日時等

平成 24 年 3 月 13 日（火）14：00～16：05 サンセール盛岡「鳳凰」

(2) 審議事項等

- ① 復興特区に関する取組状況について（報告事項）
- ② 復興計画の進行管理について（審議事項）

2 審議概要

審議事項については、**いずれも原案のとおり了承**され、3 月 28 日の復興委員会に提出することとなった。

また、今後の総合企画専門委員会においては、復興の進捗状況等を考慮し、**被災地の課題分析**や復興計画の**進行管理の結果等を踏まえた復興実施計画の見直し**等の審議を中心に行うこととされた。

審議中に出された**主な意見**は、次のとおり。

➤ 復興特区に関する取組状況

① 復興特区制度関係

- ・ 各市町村が提案した事項について、予備審査を行うというスタンスではなく、**市町村の意向を十分に尊重**し、実現するよう、**市町村にアドバイス**するとともに、これからも**積極的に国に働き掛け**られたい。

② 交付金事業関係

- ・ **事業費を早期に獲得**することが**目的化**することのないよう、それぞれの**まちの将来像を見据え**て、例えば、どのような住宅が必要なのか**十分に検討**して**要求**すべき。

③ 復興を支える人材関係

- ・ **特定の分野の知識**ばかりではなく、例えば、防災集団移転促進事業及び漁業集落防災機能強化事業に関する**制度内容等をよく理解**し、**住民に説明できる人材が必要**となっている。
- ・ あらゆる分野で、**マンパワー不足、特に、専門知識・能力のある人材不足が問題**。これを解決していかなければ復興は進まない。

➤ **復興計画の進行管理について**

① **復興指標等の活用・公表関係**

- ・ 個々の指標を公表する場合には、それぞれの**指標が持つ意味を吟味し、沿岸部の地域がどれだけ復興しているのかが分かるような公表を心掛けるべき。**
- ・ ハコモノなどの復旧・復興に加えて、**被災者の「こころ」の復興も大切。**復興に向かってやる気が出てきているか、そういうことも合わせ示さないと、遠くの人々には被災地の実態がわからない。
- ・ とにかく復興を進めることが大事であり、**復興の大きなそれぞれの柱について、「何々がうまくいっておらず、力を入れるべき。」のような形で端的にまとめ公表することが重要**ではないか。
- ・ 県が**進捗状況を公表**する場合には、その公表によって**被災地のやる気をそがないよう、公表の仕方を検討**すべき。

② **復興インデックス**

- ・ データが急激に動いたり、**異常値があるときには検証**が必要。**値だけでなく、定性的な要素を加味して判断**しないと間違えることがある。各部局にデータの提供を依頼する際には、注意喚起が必要。

③ **実施計画の事業に基づく進捗状況**

- ・ 進捗状況のモニタリングは、**「遅れ」「未実施」を分析**することにより次の対応を検討し、計画の見直しにつなげることが大事。また、**進捗している事業も、復興にどの程度寄与しているかその内容が大事。**

➤ **その他**

- ・ 一番最初の目標は「がれき撤去と避難所解消」と考えていたがこれは達成した模様。**次の目標としては、「仮設住宅」「仮設診療所」等の「仮」の状態をなくすことにある。**

H25年度に第2期実施計画の検討をされると思われるが、**H24年度は三陸創造プロジェクトの肉付けが必要。**雇用をどのように創出するか、沿岸の夢、希望を反映させる形で具体的なイメージが見えるようにすべき。水産加工業にどのように**付加価値を付けることができるか**がポイント。

以上